

共に考えたいのです。

「どの子にも、読める本がある」ために、
図書館・学校・まわりの大人・ボランティアなどが
どんな働きや協力をすればよいのでしょうか。

点字、音声、拡大、さわる本、マルチメディア・デージー、リライトなどの媒体変換をすることで、子ども一人ひとりにあった本があれば、本を自分で読むことができます。しかし、さまざまな障害のある子どもの読書環境の現状はどうでしょうか。大人たちの誠実な環境作りを子どもたちは待っています。図書館、学校、保護者などのまわりの大人、ボランティアが共に学び、連携していくことを願って、総論の講演、具体的な製作講習を、企画しました。

講演

1月13日(金)「どの子にも、読める本がある」ために

10:30~12:00 12:45~14:00 定員30名 参加費無料

講師：石井みどりさん(元横浜市立盲特別支援学校図書館司書)

山内 薫 (NPO 法人弱視の子どもたちに絵本を・理事長)

会場：日本ライトハウス情報文化センター 4階 会議室 «四つ橋線・肥後橋下車すぐ»

石井さんは、多くのボランティアと共に、単なる点訳、音訳にとどまらず、リライト、マルチメディアデージーなどの資料作り、さまざまな拡大本、指で読む絵本作り、点図などの資料群を製作して、子ども一人一人に、本を読み楽しむことができることを続けてこられています。山内からは、公立図書館からの支援学級支援、拡大本、点訳、音訳サービスなど、一人ひとりの市民と本をつなぐ実践報告、更に、障害者権利宣言や差別解消法、著作権法など障害のある子どもを取り巻く法的な整備などのはなしです。

申し込み・お問合せ 電話(090-4642-5662)/メール(wanpaku.jyakushi@gmail.com)
Fax(06-6835-1512) ご氏名と連絡先をお知らせください。

講座

➡➡裏面

★「弱視の子どものための拡大写本を作る－大阪市営地下鉄を分かりやすく書いてみる」
(全3回) 2月13日(月)/3月3日(金)/3月13日(月) 定員20名

講師：山内 薫

★「さわる絵本(いろいろな素材を使って触って絵を読む絵本)製作入門」
(全4回) 1月26日(木)/2月14日(火)/2月17日(金)/3月9日(金) 定員13名

講師：岡田恒子、さわる絵本製作グループメンバー

主催：NPO 法人弱視の子どもたちに絵本を

www.wanpakubunko.com/npo

wanpaku.jyakushi@gmail.com

電話：06-6835-1512 M-tel 090-4642-5662

事務局：〒564-0062 吹田市垂水町 3-21-7 1 0 0 5



★拡大写本入門－講師:山内 薫（全3回）

「弱視の子どものための拡大写本を作る－大阪市営地下鉄を分かりやすく書いてみる」

2月13日(月)／3月3日(金)／3月13日(月) 定員20名

10:30～12:00 12:45～14:00

拡大写本とは、本や新聞、パンフレットなどの普通の印刷物では文字が小さい、読みにくい人のために、字を大きくするだけでなく、レイアウトに配慮して、製作するものです。今回は、手書きで製作をします。弱視者、高齢者にとって、楽に読める読書を可能にするものです、

会場：吹田市立千里山・佐井寺図書館 3階 ボランティア会議室

(阪急千里線、千里山下車徒歩7分)

申し込み・お問合せ 電話(090-4642-5662) / メール(wanpaku.jyakushi@gmail.com)
fax(06-6835-1512) ご氏名と連絡先をお知らせください。

★さわる絵本製作入門－（全4回）

講師：さわる絵本あゆむ（代表 岡田恒子さん）

1月26日(木)／2月14日(火)／2月17日(金)／3月9日(木) 定員13名

10:30～12:00 12:45～14:00

さわる絵本とは？「手で読む絵本」とも言われます。絵本の人や動物など、絵の部分を様々な素材を利用して、表したものです。手で触ることで、イメージを膨らましてその物語の楽しめるように、工夫して作ります。主に、見えない見えにくい子どもたちのために、製作されています。

絵本以外にも、地図、文字カードなども製作します。

会場：豊中市立岡町図書館 3階 会議室

(阪急宝塚線、岡町図書館下車 徒歩3分)

★針・はさみなどの基本的な裁縫道具ご持参ください。

申し込み・お問合せ 電話(090-4642-5662) / メール(wanpaku.jyakushi@gmail.com)
Fax(06-6835-1512) ご氏名と連絡先をお知らせください。

講演 講師紹介

石井みどり：

横浜市立盲特別支援学校の図書館司書として勤めながら、日本図書館協会障害者サービス委員会関東小委員会委員として、障害のある児童生徒の読書環境整備に尽力した。退職後も、長年勤めた同校でボランティアとして活動を続けている。日本国際児童図書評議会会員として東北の子どもたちの読書支援を行うなど、精力的に子どもの読書支援活動に携わっている。点字付さわる絵本の出版協力も行っている。

著書：『バリアフリーの本2 はじめての点字』偕成社

共著：『一人ひとりの読書を支える学校図書館』読書工房

協力：点字つきさわる本「ぐりとぐら」福音館書店、同「さわるめいろ」小学館

同「ノンタンじどうしゃぶっぶ〜」偕成社 同「じゃあじゃあびりびり」偕成社 他

山内薫：

東京都墨田区立図書館で、一貫して障害者サービス、子どもへのサービスを担当。

視覚障がい者、高齢者、知的障害者へのサービスを、施設に出向くなど、積極的に行ってきた。

拡大写本サービスは1980年代から手がけてきた。2012年から当NPO理事長。

著書：『あなたにもできる拡大写本入門』大活字 1998年

『本と人をつなぐ図書館員 障害のある人、赤ちゃんから高齢者まで』読書工房 2008年

共著：『見えない・見えにくい人にも「読める」図書館』読書工房 2009年

『ＬＬブックを届ける やさしく読める本を知的障害・自閉症のある読者へ』読書工房 2009年